

Picasso y Barcelona

スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会
冬季研究会：招聘講演・シンポジウム

ピカソとバルセロナ

2019年12月7日(土) 13:00 ~ 17:20

国立西洋美術館講堂 (企画展示館地下二階)

東京都台東区上野公園 7-7

<https://www.nmwa.go.jp/jp/visit/map.html>

【プログラム】 *事前申込不要、先着順(130名)
展覧会をご覧になるには別途観覧券が必要ですのでご了承ください。

開会 13:00 (開場 12:40)
趣旨説明 木下 亮 (昭和女子大学)

講演 13:20 ~ 15:00
講演者紹介 松田 健児 (慶應義塾大学)

アドゥアル・バジェス (カタルーニャ美術館 近現代美術主任学芸員)
「ピカソとバルセロナ —ムダルニズマから青の時代へ—
Eduard Vallès “Picasso y Barcelona: Del Modernismo al período azul”
*スペイン語 (通訳あり)

研究報告 15:20 ~ 16:20
「ピカソとエル・グレコ：ムダルニズマとの最初の接点」 松田 健児
「ピカソの1917年バルセロナ滞在」 久保田 有寿 (国立西洋美術館)
「ピカソと戦前の日本 —ピカソ受容の補助線」 塚田 美香子 (実践女子大学)
討議 16:40~17:20
閉会 17:20

主催：スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会、国立西洋美術館
後援：在日スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京

科学研究費基盤 (C) 「ムダルニズマ絵画研究 —ルシニョルとカザスを中心に—」 研究代表者：木下亮